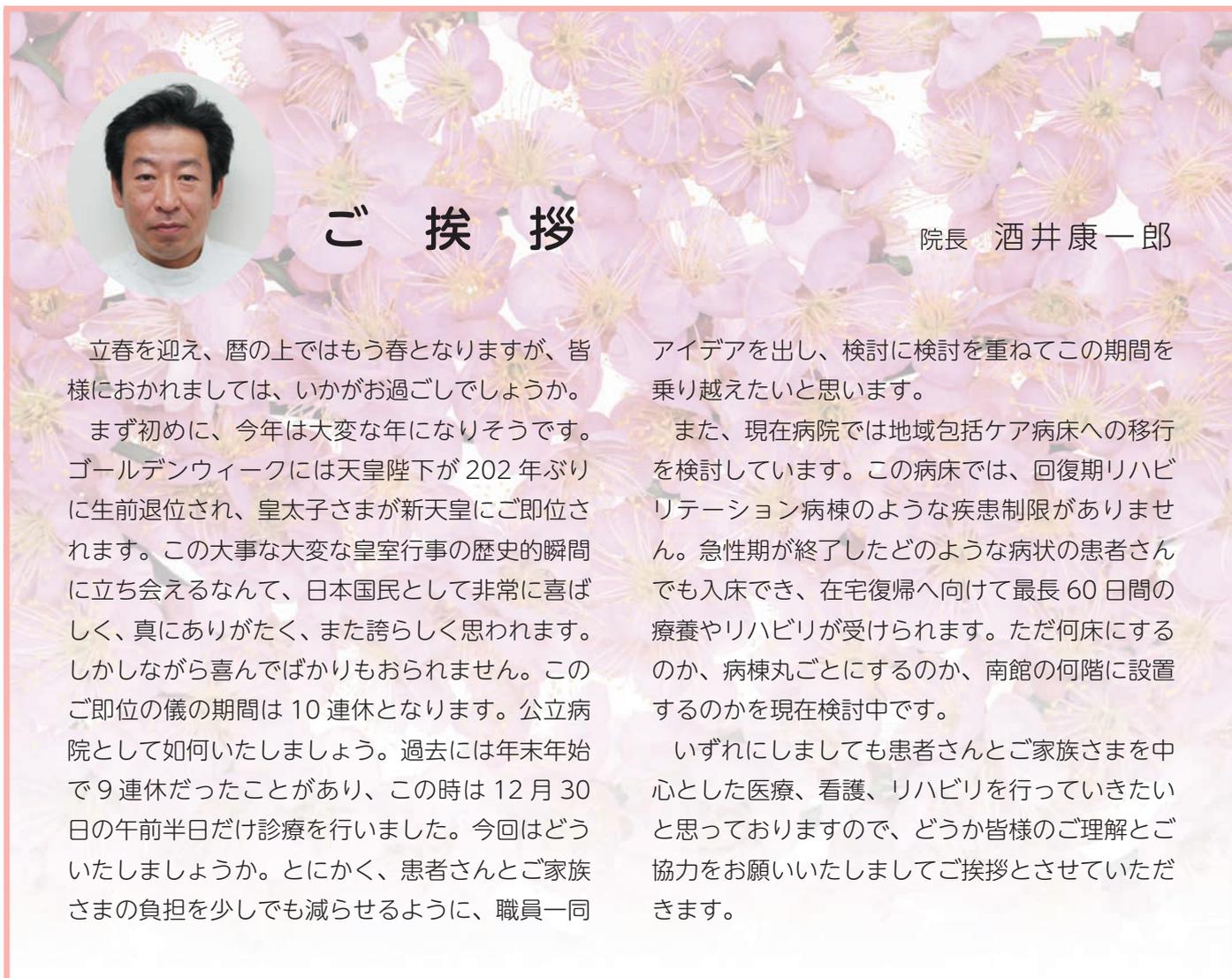


# 広報かみいち総合病院

第44号 平成31年2月発行



編集・発行 かみいち総合病院 広報委員会  
〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51番地  
TEL.076-472-1212 FAX.076-472-1213  
E-mail:kanri@kamiichi-hosp.jp  
URL:https://www.kamiichi-hosp.jp/



## ご挨拶

院長 酒井康一郎

立春を迎え、暦の上ではもう春となりますが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

まず初めに、今年は大変な年になりそうです。ゴールデンウィークには天皇陛下が202年ぶりに生前退位され、皇太子さまが新天皇にご即位されます。この大事な大変な皇室行事の歴史的瞬間に立ち会えるなんて、日本国民として非常に喜ばしく、真にありがたく、また誇らしく思われます。しかしながら喜んでばかりもおられません。このご即位の儀の期間は10連休となります。公立病院として如何いたしましょう。過去には年末年始で9連休だったことがあり、この時は12月30日の午前半日だけ診療を行いました。今回はどういたしましょうか。とにかく、患者さんご家族さまの負担を少しでも減らせるように、職員一同

アイデアを出し、検討に検討を重ねてこの期間を乗り越えたいと思います。

また、現在病院では地域包括ケア病床への移行を検討しています。この病床では、回復期リハビリテーション病棟のような疾患制限がありません。急性期が終了したどのような病状の患者さんでも入床でき、在宅復帰へ向けて最長60日間の療養やリハビリが受けられます。ただ何床にするのか、病棟丸ごとにするのか、南館の何階に設置するのかを現在検討中です。

いずれにしても患者さんご家族さまを中心とした医療、看護、リハビリを行っていきたく思っておりますので、どうか皆様のご理解ご協力をお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。

## 基本理念

「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する」

## 基本方針

- 1 地域医療の確保 住民のニーズに対応し、地域の医療機関、保健・福祉分野と連携した包括医療・ケアを提供する。
- 2 チーム医療の推進 医療従事者として研鑽に励み互いに助け合い、質の高い安全な医療を実践する。
- 3 住民参加 地域に開かれた病院を目指し、住民との交流を深め町づくりに貢献する。
- 4 思いやりの職員集団 一人ひとりが思いやりの精神をもって活動する。

# その人らしく地域で生きていく人を支えたい

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 新林 正子

## 脳卒中って何？

脳卒中と聞いて何を思い浮かべますか？「体が動かなくなる」とか「昔の中風（ちゅうぶ）のこと」とかですか？脳卒中とは、脳の血管がトラブルを起こす病気で、脳出血・脳梗塞・クモ膜下出血のことをいいます。脳梗塞は血管が詰まり、脳出血とクモ膜下出血は血管が破ける病気です。脳は、体を動かしたり、考えたりするための働きをしています。脳の中は、まるで地図のように「手を動かす場所」「言葉を話す場所」などいろんな生きていくための働きの場所が決まっています。脳卒中になると、このいろんな生きていくための働きの場所が障害されて、さまざまな症状が出ます。運動神経のところの血管が詰まったり出血すると「麻痺」、言葉を話すところだと「言語障害（言葉がうまく話せない）」、考えたりするところだと「うまく考えられない」などあり、その障害を抱えて生きていくこととなります。

## 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の仕事

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、さまざまな障害をもった患者さんが生活を再構築できるよう支え、その人らしく生きていけるよう一緒に考えてケアしていくことが役割です。早期から患者さんが出来ることや可能性（予後予測）を考え、出来ないことは「どう

やったら出来るか」を一緒に考えてケアしています。脳卒中患者さんは、突然の発症で戸惑い落ち込み、またご家族はこれからの生活の不安や悲嘆の気持ちを持っています。そういったつらい気持ちに寄り添い、少しでも「その人らしく」生きていけるようケアしています。

脳卒中は、日本人の死因の第3位、介護が必要となった病気の第1位です。また福岡県久山町の疫学研究のデータによると、一度脳卒中になると半数の患者さんが再発するといわれています。そのため発症・再発予防は非常に大事です。脳卒中になる原因は「高血圧」・「不整脈」・「糖尿病」などです。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、このような脳卒中になるリスクを抱えた患者さん、また脳卒中になった患者さんの日常生活や食生活・薬の管理方法など一緒に考え、退院後の生活のアドバイスをしています。

麻痺の体の使い方がわからない、脳卒中になったご家族の対応に悩んでいる、なかなか血圧が下がらないので生活を見直したい…など脳卒中に関する不安や悩みがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



# 健診センター からのお知らせ

平成24年度より、当院、健診センターで実施しております、土曜レディース健診の平成30年度開催分が先日無事、終了しました。

土曜レディース健診は女性スタッフ（医師、看護師、放射線技師、受付）による乳がん・子宮がん健診で例年、6月～11月の第2・4土曜日の午前中に行っています。毎年、300人前後のご利用があり、待ち時間も少なく、毎年、ご好評をいただいております。

## 平成30年度 土曜日レディース 健診受診状況報告について

6月～11月の第2・4土曜日  
8：30～12：30（計11回 8月は1回）

### 子宮 検診予約

頸部のみ… 98件  
頸部+頸体部… 135件

実施数 計 233

### 乳房 検診予約

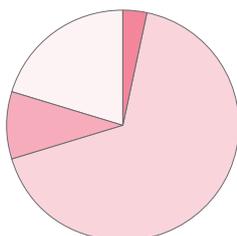
MMG1方向… 117件  
MMG2方向… 141件  
(乳線エコー) (212)件

実施数 計 258

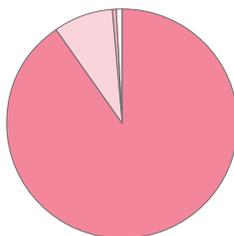
子宮・乳房  
合計人数  
294人

**【アンケート集計】** 上市町…206 / その他（その他：富山市・黒部市・滑川市・立山町・舟橋村）…57  
20代…3人 / 30代…17人 / 40代…58人 / 50代…79人 / 60代…59人 / 70代以上…37人

質問1 この健診を何で知ったか？



質問2 感想



質問3 質問2の理由（複数回答可）

- 1 医師の対応が良かった …… 129
- 2 スタッフの対応が良かった …… 194
- 3 待ち時間が短かった …… 76
- 4 土曜日で受けやすかった …… 135
- 5 全てが女性スタッフで良かった …… 156
- 6 医師の対応が悪かった …… 0
- 7 スタッフの対応が悪かった …… 3
- 8 待ち時間が長かった …… 10
- 9 その他 …… 4

## 糖尿病と感染症

糖尿病看護認定看護師 濱野 初恵

インフルエンザをはじめとする感染症が流行する季節となりました。

海外のデータによると、糖尿病患者さんの鼻～喉にかけての上気道での感染症の発症率は健康な人と比べて1.18倍、肺炎は1.46倍かかりやすいとの報告もあります。

糖尿病患者さんは血糖値の上昇によって、細菌やウイルスなどの外敵から身を守る機能を持つ白血球や免疫にかかわる細胞の機能が低下し、病原体と十分に戦えない状態となることが原因とされています。

また、糖尿病患者さんは一旦感染症を発症すると、血糖値を下げるホルモンであるインスリンを効きにくくする物質が体内で増え、血糖値が普段よりも高くなります。このことが糖尿病の状態をより悪くしてしまい、感染症をさらに進行させてしまうという悪循環が生まれます。さらに、抗生物質などの薬物治療でも、薬の効果が、十分に働かなくなる場合もあります。

したがって、インフルエンザの流行時には一般の方と同様、手洗いやうがい、マスク着用を心がけ、人混みへの外出を避けるといった予防対策が必要です。また、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの積極的な予防接種の投与も感染症を重症化させないため

にも重要です。特に、高齢の方では自覚症状に乏しく、発熱の程度が軽度の場合もありますので、自己判断をせずに医療機関を受診して診察を受けましょう。

インフルエンザに限らず、糖尿病患者さんが感染症にかかると、熱が出る、下痢をする、吐く、食事がとれなくなることがあります。この状態をシックディ（病気の日）と呼びます。シックディの状態では、日頃血糖値が安定している糖尿病患者さんであっても、著しく血糖値は上昇します。また、体調が悪く、食事が摂れないことで、血糖値が下がってしまう可能性もあります。対処が遅れると、緊急の治療が必要となることがあります。

シックディの際には、インスリン注射や薬の調整が必要となる場合がありますので、どのように対応したらよいか、日頃から主治医の先生と話し合っておきましょう。

内科外来では糖尿病療養指導士による療養相談も随時行っています。お気軽にご相談ください。



## 患者サポート相談窓口のご案内

相談を  
希望される  
方は…

窓口 ● 患者サポート相談窓口（北館1階）

受付日 ● 月曜日～金曜日  
（外来休診日・年末年始を除く）

時間 ● 午前8時30分から  
午後5時15分まで

当院担当職員が相談内容に対応いたします。

※窓口以外にも、電話や投書箱、E-mailでもお受けいたします。  
E-mailアドレス kanri@kamiichi-hosp.jp

相談  
内容

- 診療内容について
- 転院・施設紹介について
- 医療費・福祉制度について
- 個人情報・情報開示について
- 医療安全について
- 主治医以外の医師の意見（セカンドオピニオン）
- ご意見・ご要望 その他

お問い合わせ先

かみいち総合病院  
患者支援相談室  
電話：076-472-1212（代表）



## 人間ドック・健康診断のご案内

現代社会における環境の変化や食生活の多様化により、自分では気づかないうちに進行してしまうがん・心臓病・脳卒中は、生活習慣の改善により発症を予防したり、進行を遅らせたりすることができます。皆さまが関心をもって定期的に健康診断を受けることが、これからの健康管理の重要なポイントといえます。当院では各専門医師による画像診断、ドック担当医による総合的な診察、保健師、看護師からの生活指導など、個別の状態に応じたアドバイスを行っています。皆さまの健康づくりのお手伝いとして人間ドックをご利用ください。

人間ドックは予約制となっており、  
随時受付しています。

ご予約は、当院南館1階「健診センター受付窓口」、または電話でもできます。オプション検査も多種用意してありますので、ご予約時にお問い合わせください。



お問い合わせ  
ご予約先

かみいち総合病院 健診センター  
直通電話：076-472-5136

※お問合せ・ご予約は午後2時から午後4時までにお願ひします。

# 医療スタッフ紹介



整形外科 青木 信之

平成30年10月より当院で勤務しています。専門はスポーツ整形（外傷や障害）、膝関節ですが、整形外科一般に対し幅広く診察、治療をしています。少しでも患者さんの助けになれるようがんばります。今後ともよろしくお願ひします。



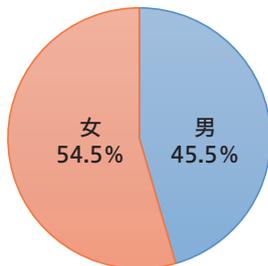
## 外来患者満足度調査の結果

平成30年9月4日～5日実施

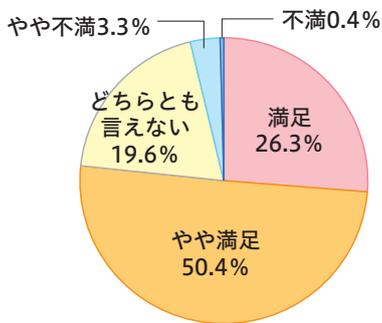
回答者数：272人  
平均年齢：66.0歳



### 回答者の性別割合

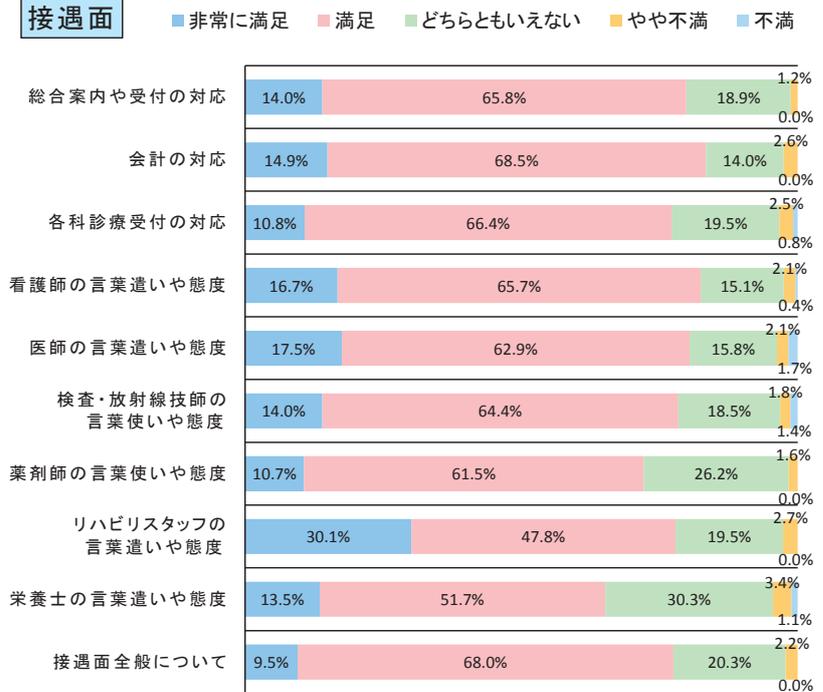


### 総合満足度

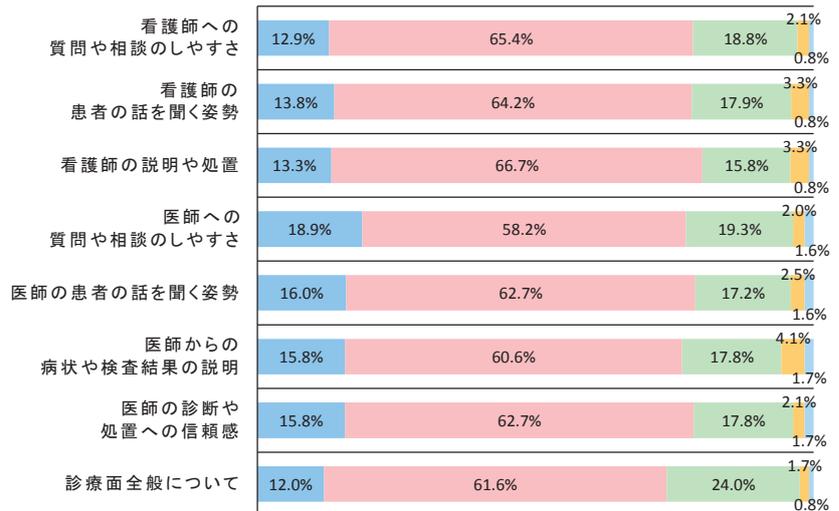


### 主要項目の満足度

#### 接遇面



#### 診療面



### 小児科のインターネット予約受付中

スマートフォンやパソコンなどでかみいち総合病院のホームページから24時間外来予約ができます。また、予防接種も予約受付ができます。



診療受付時間 平日 8:30～11:30 13:00～16:30

QRコードからも